

2004年度(平成16年度)  
**決算説明会資料**

平成17年6月15日  
株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ  
(8377)

# 目 次

## 2004年度決算概要

- ・2004年度決算のポイント
- ・2004年度決算のポイント(各行別)
- ・コア業務粗利益の推移
- ・経費・OHRの推移
- ・コア業務純益の推移

- ・不良債権処理・業務純益推移
- ・金融再生法開示債権の推移
- ・当期純利益の推移
- ・自己資本比率・Tier1比率の推移
- ・2005年度業績予想

## 営業の実績

- ・消費者ローンの推移
- ・住宅ローンの推移
- ・個人向け投資型金融商品残高の推移
- ・投資信託・保険販売手数料収入の推移

- ・私募債・シンジケートローンの推移
- ・人員構成の推移
- ・繰延税金資産の推移

## ほくほくFGの経営健全化計画

- ・経営健全化計画の進捗状況

## ほくほくFGの経営戦略

- ・ほくほくFGの北海道における位置づけ
- ・地銀の広域化の流れ
- ・地域におけるネットワーク
- ・ほくほくFGのビジネスモデル
- ・法人取引(事業性貸出)戦略

- ・個人取引(住宅ローン等)戦略
- ・環日本海国際化戦略:中国ビジネス等  
海外進出支援
- ・企業再生・不良債権処理の取り組み
- ・リレバンの更なる強化に向けて

# 2004年度決算概要

# 2004年度決算のポイント

	ほくほくFG 連結 (‘04年度)	2行合算 (‘04年度)	
			前期比
連結粗利益/業務粗利益	1,560	1,802	103
資金利益	1,150	1,410	71
役務取引等利益	247	263	30
特定取引利益	32	31	8
その他業務利益	129	96	70
営業経費/経費	786	891	4
業務利益(一般貸倒引当金繰入前)	797	910	107
<b>コア業務純益</b>	<b>744</b>	<b>858</b>	<b>19</b>
貸倒償却・引当	541	595	319
株式等関係損益	19	15	62
<b>経常利益 (予想210)</b>	<b>272</b>	<b>340</b>	<b>167</b>
特別損益	25	22	15
法人税等調整額	124	164	156
<b>当期純利益 (予想100)</b>	<b>112</b>	<b>152</b>	<b>5</b>

単位: 億円 FG連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 連結粗利益 - 営業経費(臨時処理分を除く)、2行合算業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費、コア業務純益 = 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) - 国債等債券関係損益等

FG連結 = ほくほくFG、北陸銀行、北海道銀行、その他子会社12社、関連会社2社の連結数値(利益については、北海道銀行分は2004年9月1日から連結対象)、2行合算 = 北陸銀行単体と北海道銀行単体の合算

## コア業務純益 858億円(2行合算)

### 資金利益: 前期比 71億円

…事業性貸出の減少、貸出金利回り低下

### 役務取引等利益: 前期比 + 30億円 (特定取引利益: 前期比 + 8億円)

…投資信託・保険販売、私募債・シンジケートローン取組強化により両行とも過去最高の水準を確保

### 経費: 前期比 + 4億円

…店舗・人員の再配置により経営効率化を進めるも、経営統合に係る一時費用が増加

## 当期純利益 152億円(2行合算)

### 不良債権処理費用: 前期比 319億円

(一般貸倒引当金繰入を含む)

…不動産担保評価の厳格化・要管理債権の引当率引き上げ、未保全部分に対する引当強化を行うも、企業再生支援強化によるランクアップや新規発生の減少により大幅に減少

### 法人税等調整額: 前期比 + 156億円

…繰延税金資産圧縮にかかる法人税等調整額を170億円計上

# 2004年度決算のポイント(各行別)

	北陸銀行			北海道銀行		
	('04年度)	前期比		('04年度)	前期比	
	1,036	33	コア業務粗利益	713	18	事業性貸出の減少を住宅ローン増強、有価証券投資拡大、有価証券利回り改善でカバー
	823	71	資金利益	586	0	
	151	19	役務取引等利益	112	10	
	31	8	特定取引利益	-	-	
	29	9	その他業務利益	14	7	
	516	3	経費	375	8	外形標準課税導入および一時費用等
	519	30	コア業務純益	338	10	
	46	81	国債等債券損益等	4	6	企業再生支援強化によるランクアップ
	566	111	業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	343	3	
	427	248	不良債権処理額	168	70	
	13	41	株式等損益	2	20	2期連続過去最高益を更新
	167	101	経常利益	173	65	
	21	6	特別損益	0	22	
	104	116	法人税等調整額	60	40	
	40	8	当期純利益	111	2	

過去最高の役務取引等利益となる

店舗・人員配置等一層の効率化

不動産担保評価厳格化、要管理先債権引当率引上

繰延税金資産圧縮のため、法人税等調整額110億円計上

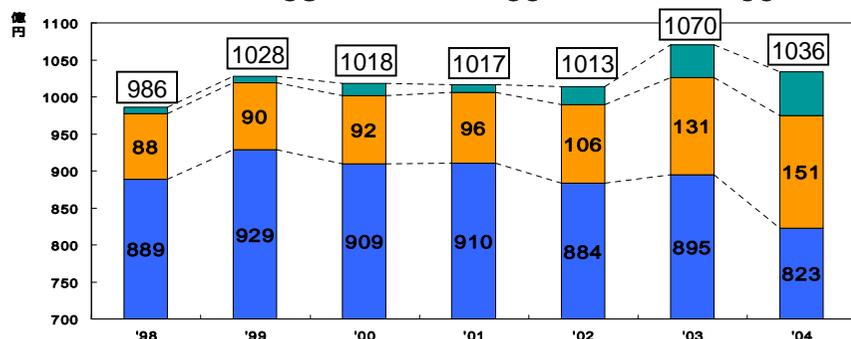
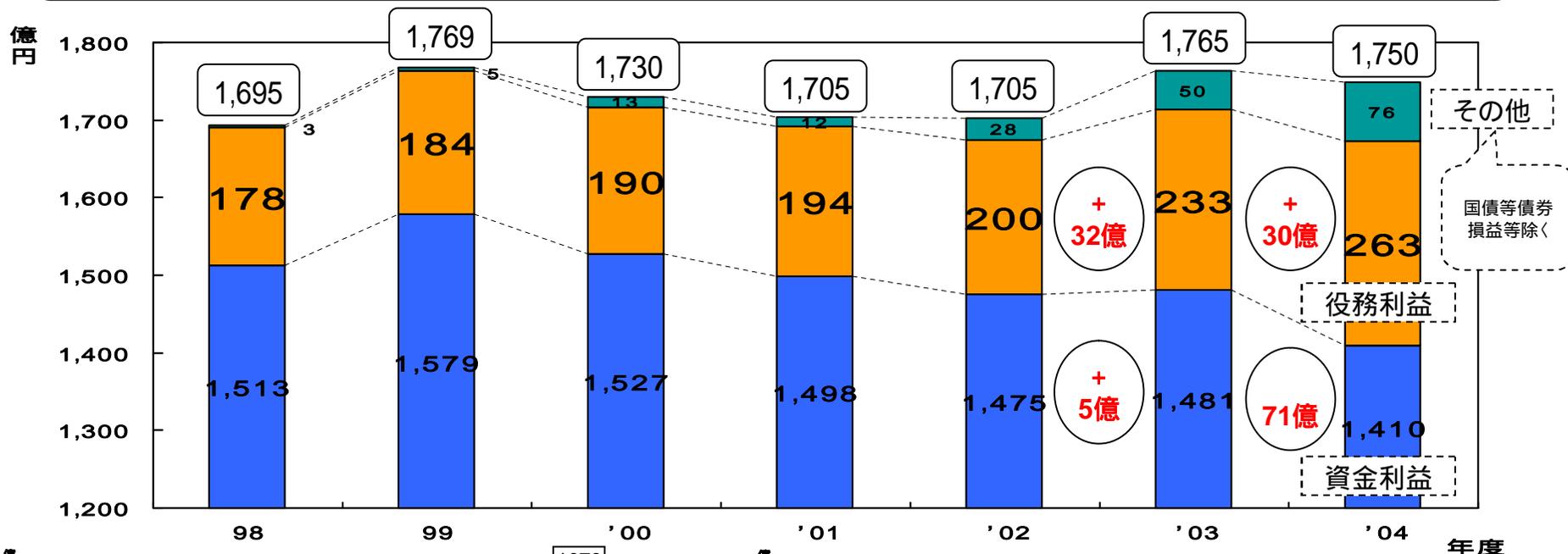
単位:億円

その他業務利益 = 国債等債券損益等を除く

不良債権処理額には、一般貸倒引当金繰入を含む

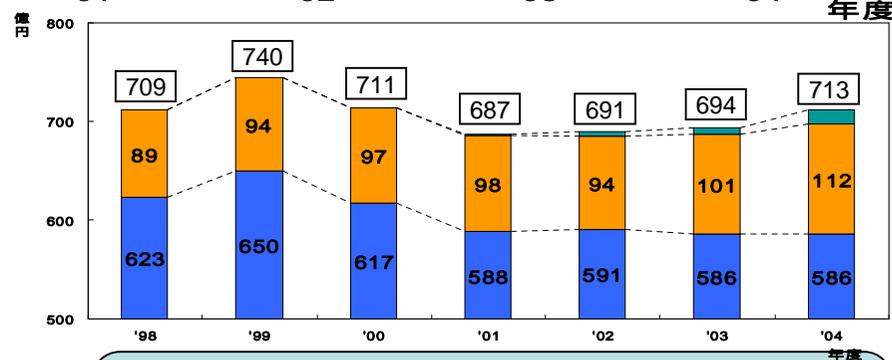
# コア業務粗利益の推移 ~ 北陸・北海道合算 ~

- 2004年度のコア業務粗利益は、前期比 15億円の1,750億円。
- 資金利益は前期比 71億円。役務利益は前期比 + 30億円(2期で + 62億円)



**<北陸銀行>** 前期比

- ・資金利益(事業性貸出減少) 71億円
- ・役務利益(投信等手数料増加) +19億円
- ・その他(デリバティブ等増加) +17億円

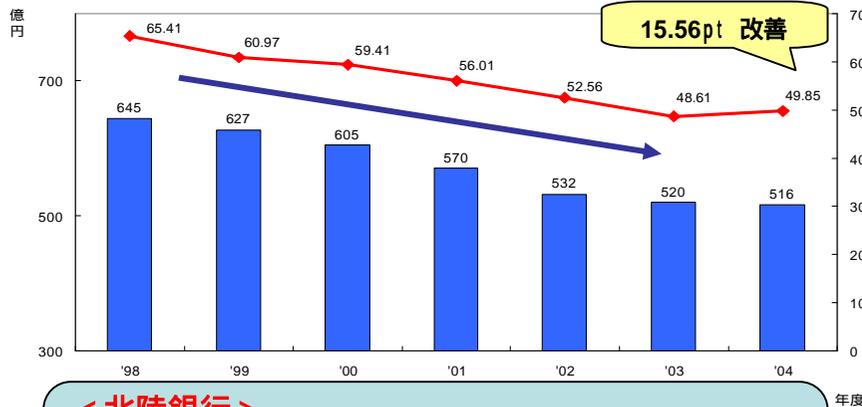
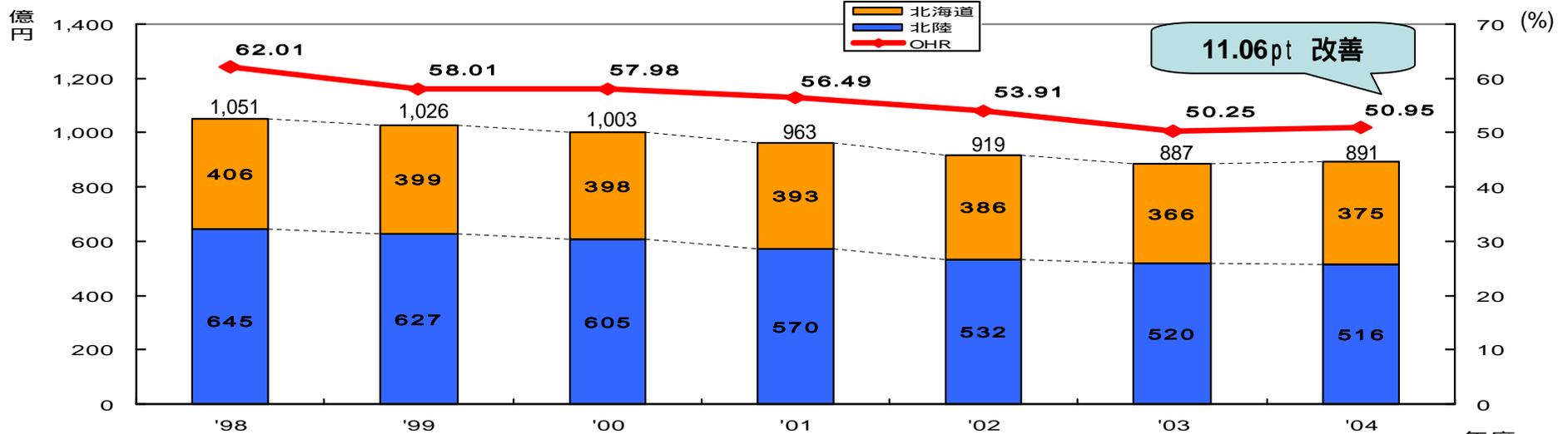


**<北海道銀行>** 前期比

- ・資金利益(住宅ローン増強でカバー) +0億円
- ・役務利益(投信等手数料増加) +10億円
- ・その他(デリバティブ等増加) +7億円

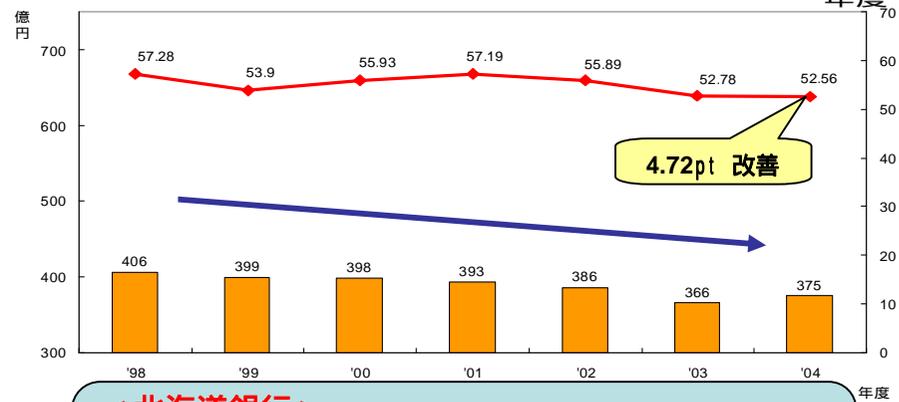
# 経費・OHRの推移 ~ 北陸・北海道合算 ~

- 経営の効率性を示すOHR(コア業務粗利益ベース)は、地銀トップクラスの水準
- 98年度(平成10年度)以降、両行合算で約160億円削減



### < 北陸銀行 >

- ・前期比 3億円削減、98年度以降128億円削減
- ・04年度は、店舗・人員配置などの経営効率化を一層推進し、3億円の削減となった。

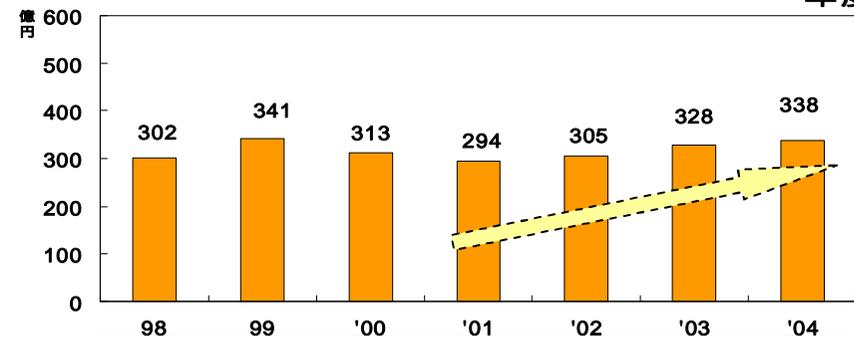
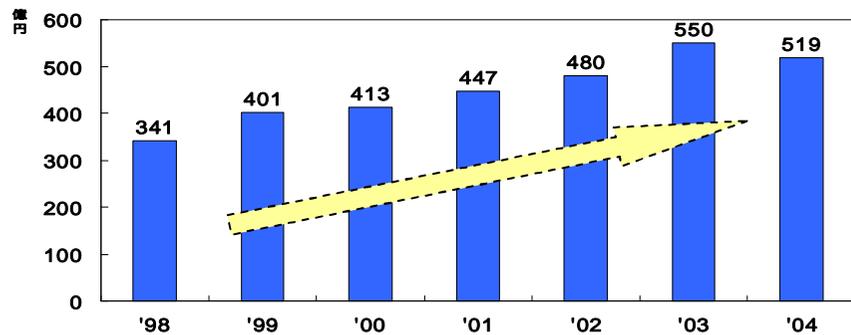
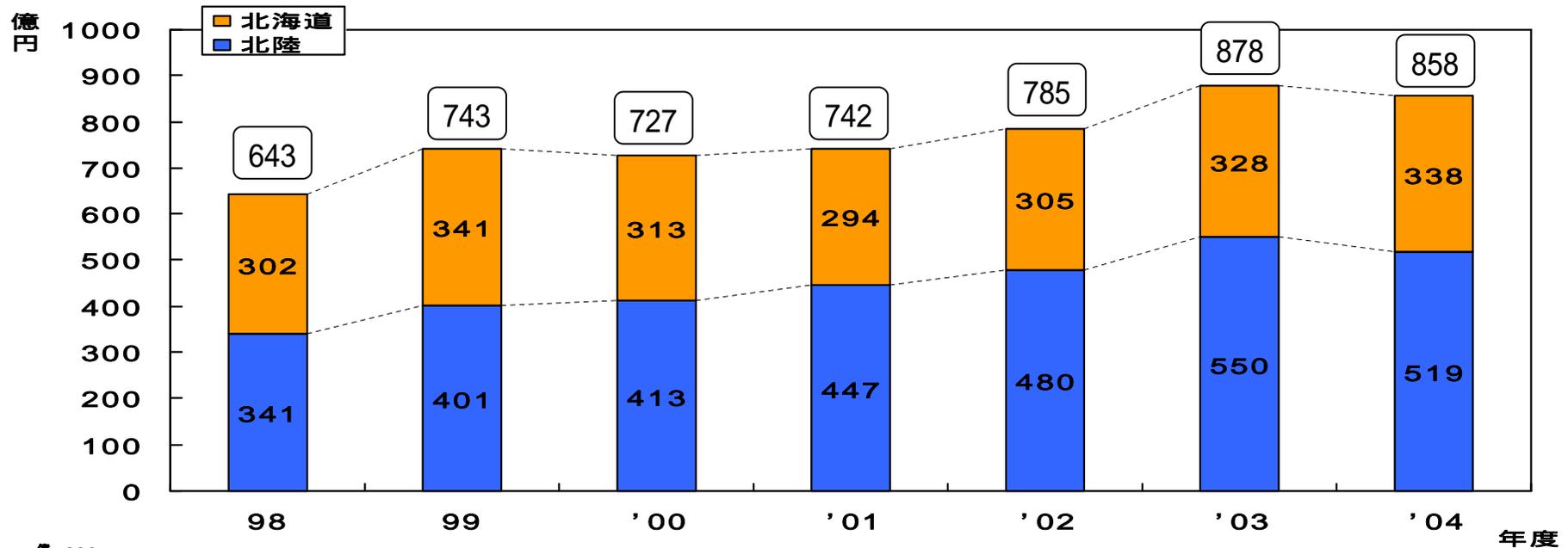


### < 北海道銀行 >

- ・前期比 8億円増加、98年度以降31億円削減
- ・04年度は、外形標準課税の導入、経営統合費用の一時的な増加もあり、8億円の増加となった。

## コア業務純益の推移 ~ 北陸・北海道合算 ~

- 本業収益力を示すコア業務純益は、引き続き高い水準を確保
- 98年度(平成10年度)以降、両行合算で214億円の伸びを示す



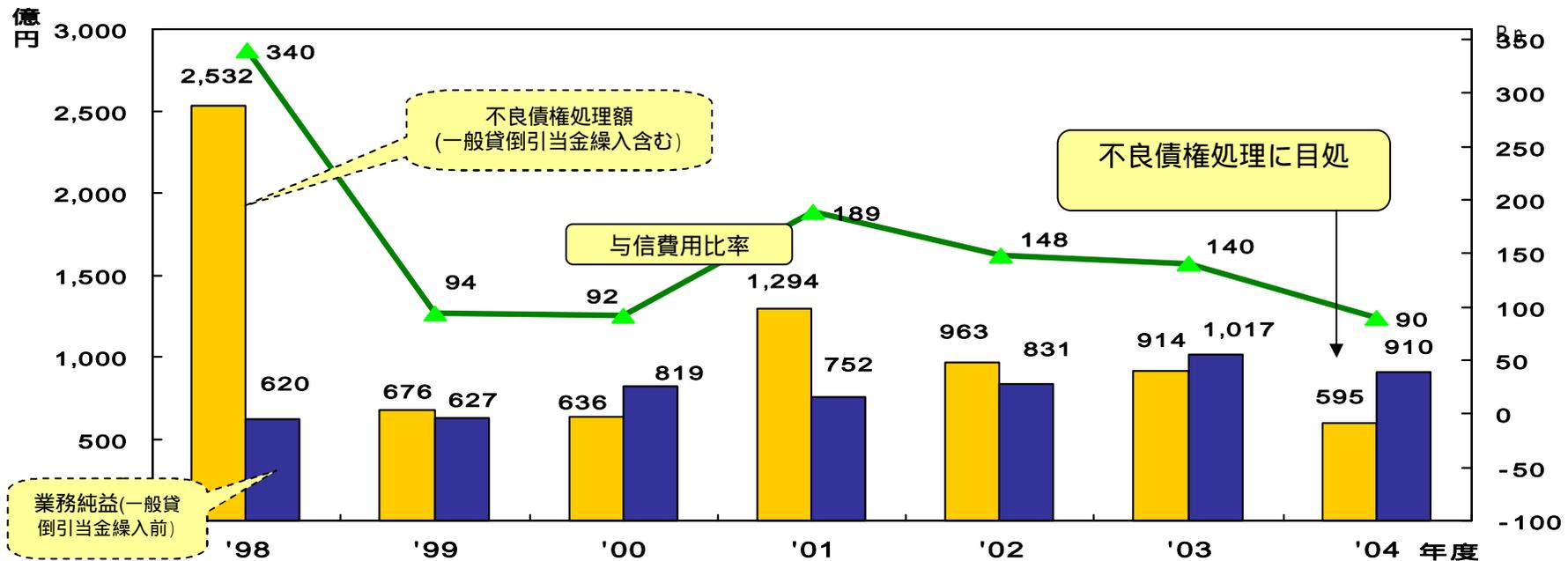
< 北陸銀行 >

前期比 30億円 98年度以降 + 178億円

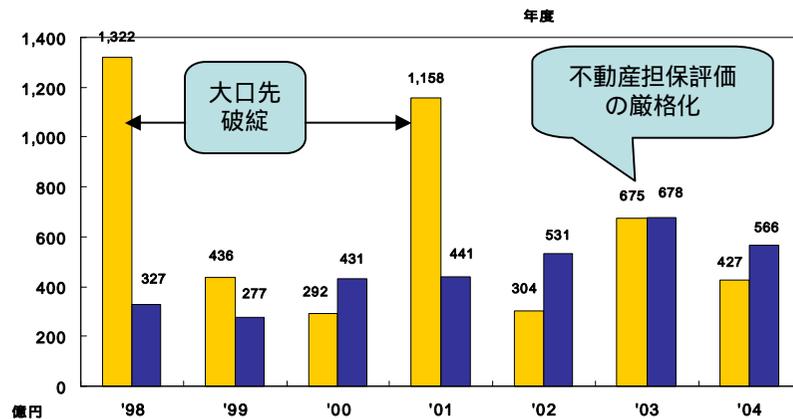
< 北海道銀行 >

前期比 + 10億円 98年度以降 + 35億円

# 不良債権処理・業務純益推移 ~ 北陸・北海道合算 ~

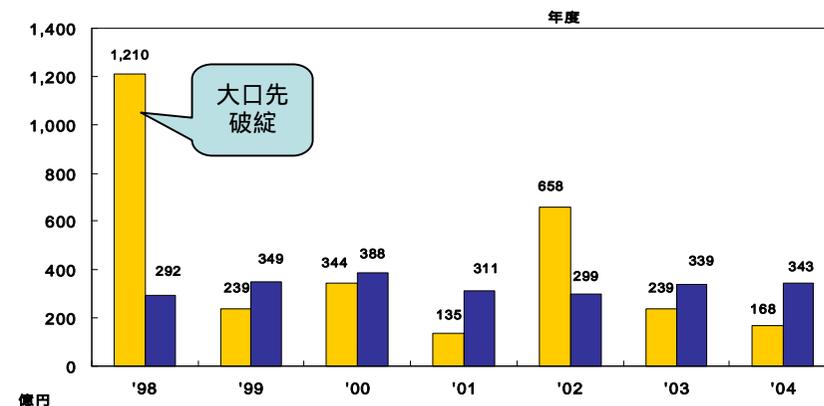


与信費用比率 = 不良債権処理額(一般貸倒引当金繰入含む) / 貸出金平残



## < 北陸銀行 >

・2004年度は、担保評価の厳格化、引当強化を行う一方、新規発生は減少し、不良債権処理額は前期比248億円減少(427億円を処理)

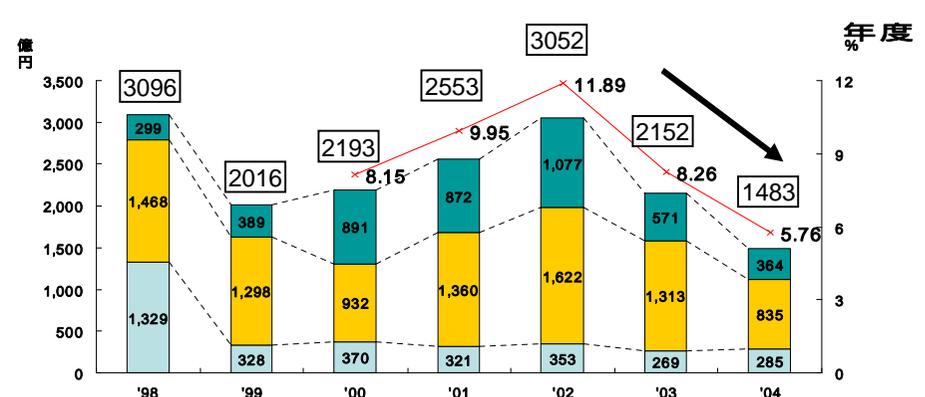
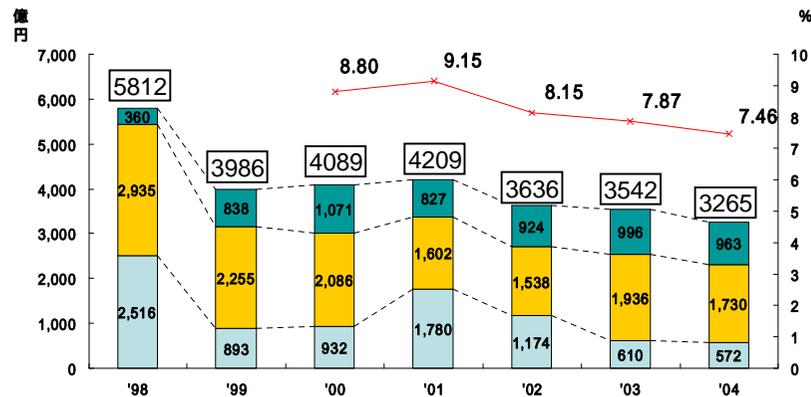
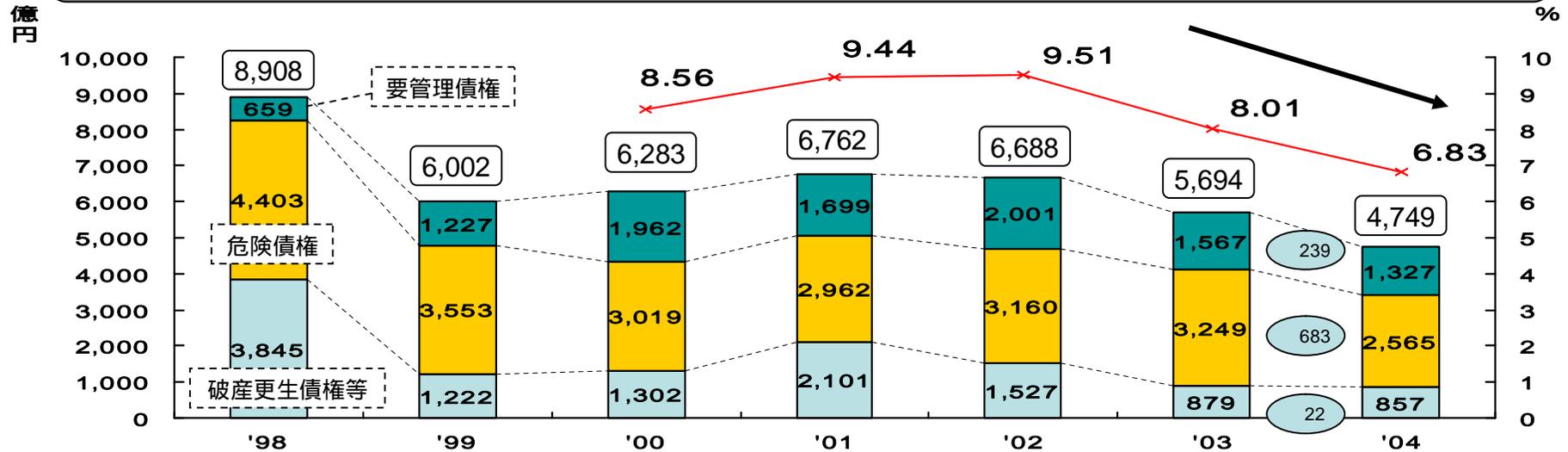


## < 北海道銀行 >

・2004年度は、引当強化を行う一方、企業業績の回復や再生支援の強化によるランクアップにより、不良債権処理額は前期比70億円減少(168億円を処理)

## 金融再生法開示債権の推移 ~ 北陸・北海道合算 ~

- 金融再生法開示債権は、前期末比945億円減少し、4,749億円にまで低下
- 再生法開示債権比率は、前期末比1.18%改善し、6.83%にまで低下



### <北陸銀行 + 北銀コーポレート>

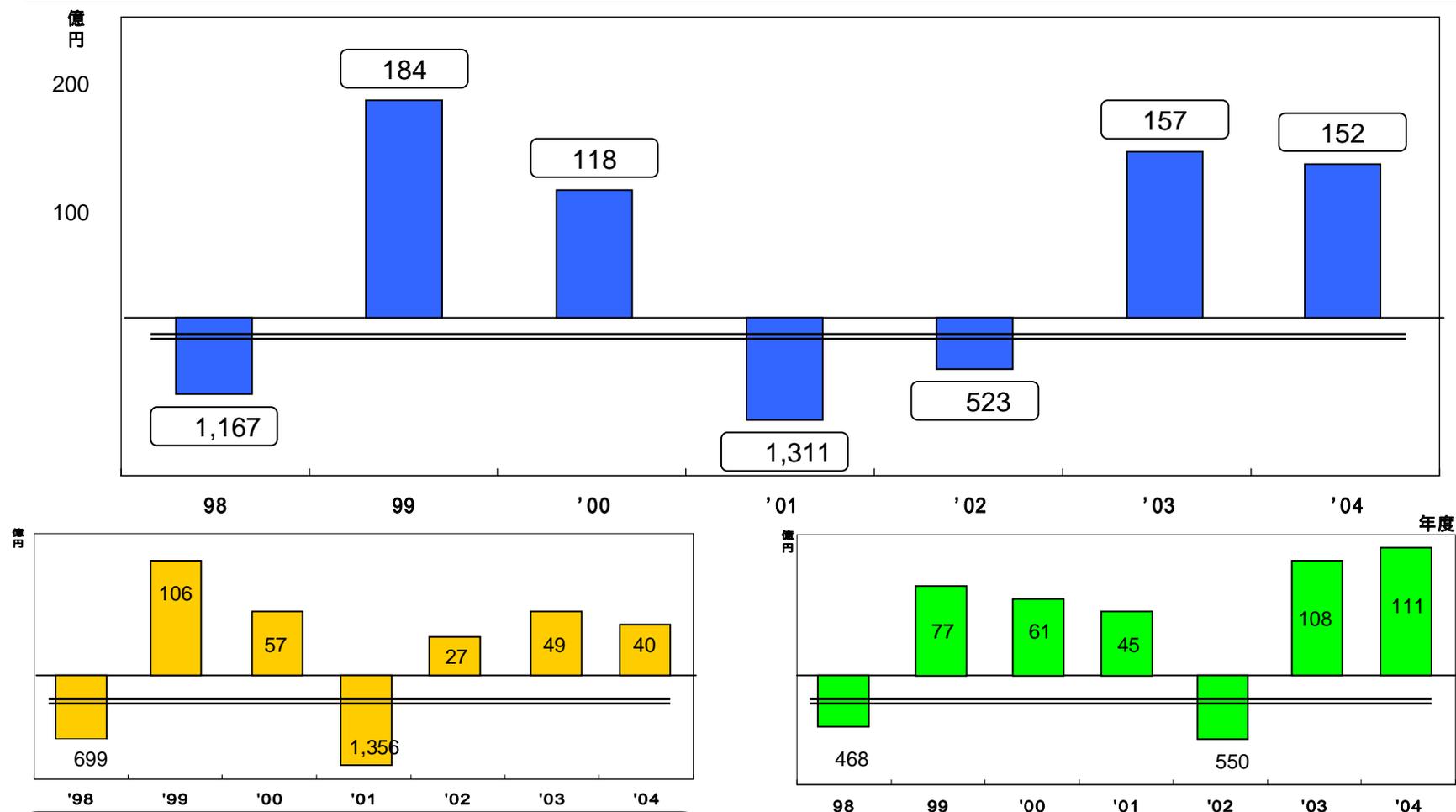
- ・金融再生法開示債権は、前期末比277億円減少し、3,265億円にまで低下
- ・再生法開示債権比率も前期末比0.41ポイント改善し、7.46%にまで低下

### <北海道銀行>

- ・金融再生法開示債権は、前期末比668億円減少し、1,483億円にまで低下
- ・再生法開示債権比率も前期末比2.50ポイント改善し、5.76%にまで低下

## 当期純利益の推移 ~ 北陸・北海道合算 ~

- 2004年度は経営健全化計画を10億円上回る152億円
- 北海道銀行は、2期連続で過去最高の当期純利益を計上



### < 北陸銀行 >

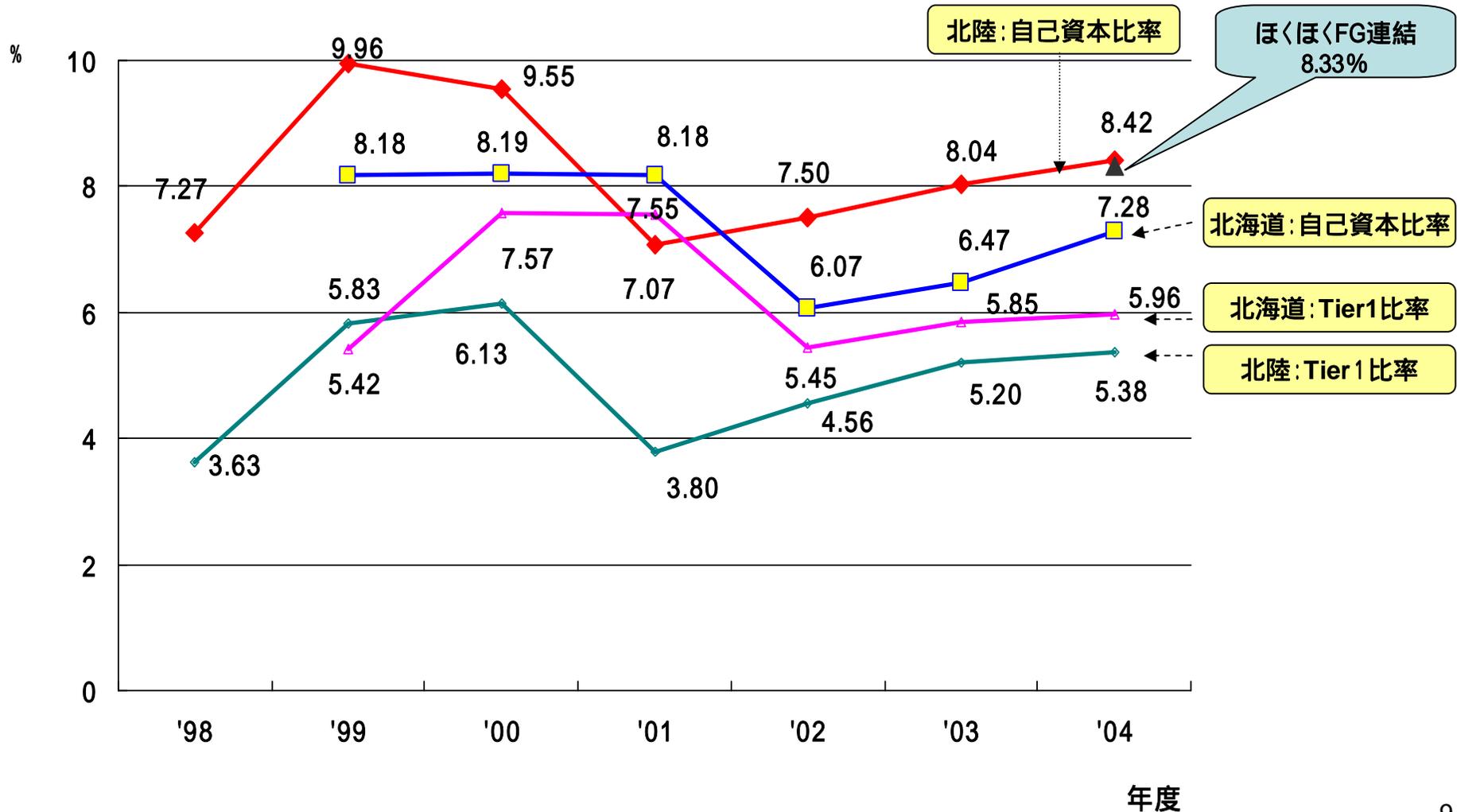
・2004年度当期純利益は、繰延税金資産圧縮にかかる法人税等調整額110億円を織り込んだ結果、前期比8億円減少の40億円に着地

### < 北海道銀行 >

・2004年度当期純利益は、繰延税金資産圧縮にかかる法人税等調整額60億円を織り込んだ結果、前期比2億円増加の111億円に着地

# 自己資本比率・Tier 1 比率の推移

- ほくほくFG連結ベースの自己資本比率は8.33%、Tier1比率は5.95%
- 2005年3月に、劣後債200億円発行による資本調達



## 2005年度業績予想

(億円)

	ほくほくFG連結 (2005年度予想)		2行合算 (2005年度予想)			
		前期比		うち北陸	うち北海道	前期比
経常収益	2,250	218	2,050	1,220	830	104
コア業務純益			870	520	350	12
経常利益	460	187	475	265	210	135
当期純利益	240	127	260	155	105	108

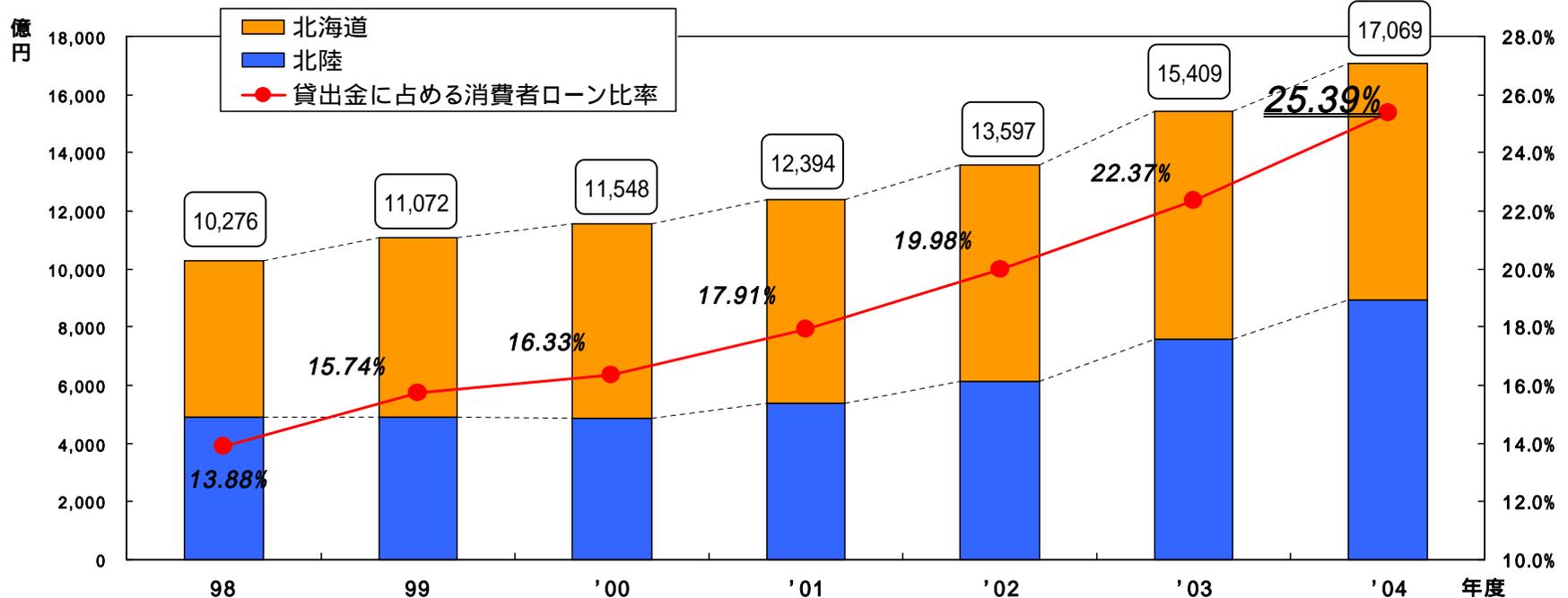
「うち北陸」には、分割子会社(株北銀コーポレート)を含む

- 2005年度は、ほくほくFG設立後、初めて通期ベースでの結果が示される第2フェーズに突入「飛躍の年」
- コア業務純益：過去最高水準の870億円に挑戦＜過去最高は878億円＞
- 当期純利益：2行合算ベースで経営健全化計画策定後の過去最高水準260億円を目指す
- 普通株式配当：1.5円配当の実現(通期一括)

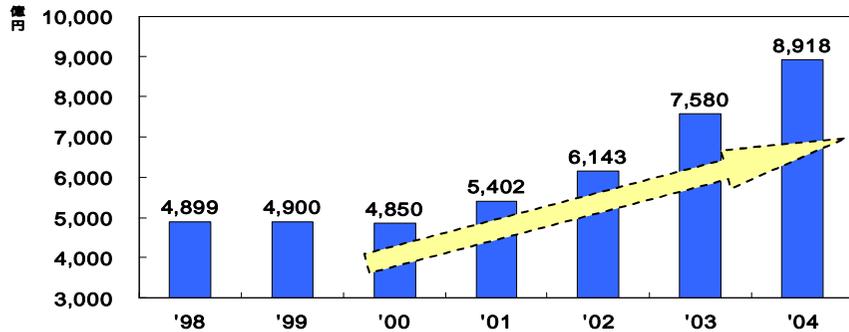
# 営業の実績

# 消費者ローンの推移 ~ 北陸・北海道合算 ~

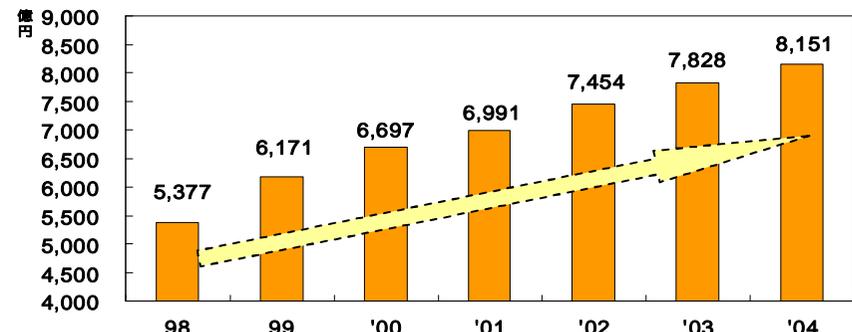
➤98年度以降、両行合算で6,791億円の残高増加



(注)北陸銀行の計数には、購入RMBS(03年度:711億円、04年度:1,539億円)含む。流動化残高減少影響(03年度:711億円、04年度:989億円)。



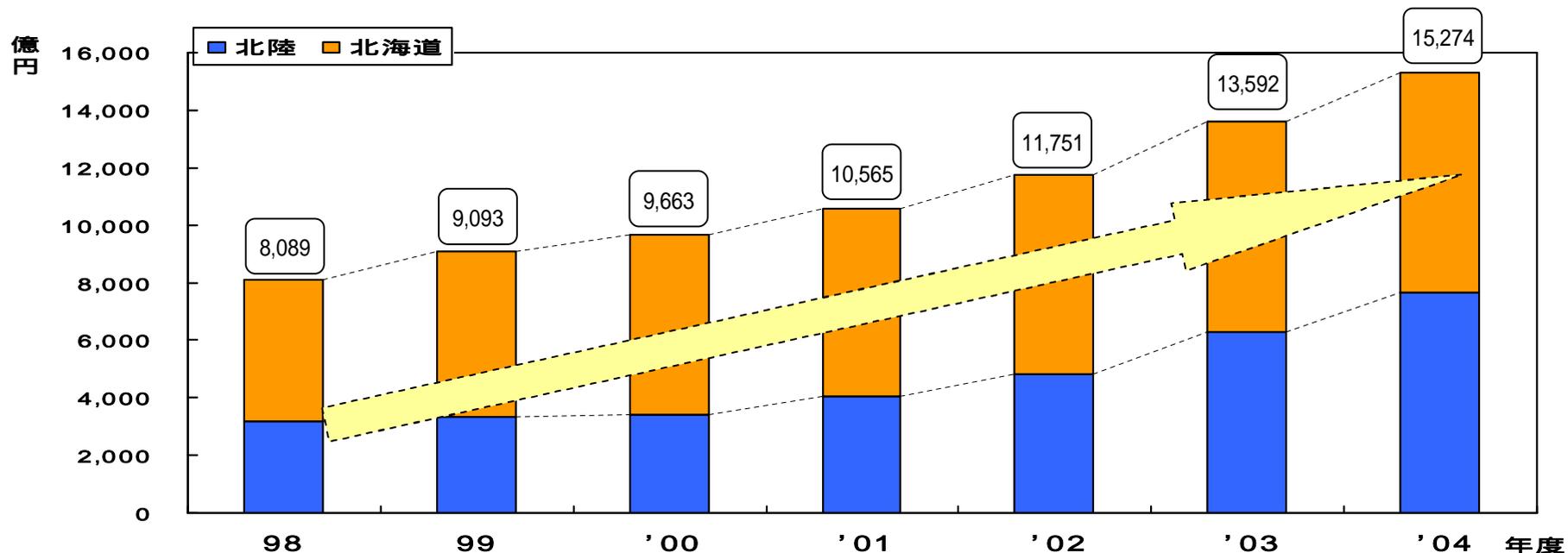
**<北陸銀行> 総貸出に占める消費者ローン比率**  
 98年度末 10.59% から 04年度末 21.32% へ  
 ・05/6末でほくぎんローンプラザ50カ所体制へ  
 ・ハウスカーを組織化したドリーム会：3,815名(05/3)



**<北海道銀行> 総貸出に占める消費者ローン比率**  
 98年度末 19.35% から 04年度末 32.09% へ  
 ・住宅ローンプラザを道内主要10都市の12カ所で展開  
 ・年中無休・非来店型カードローン「ラピッド」の増強

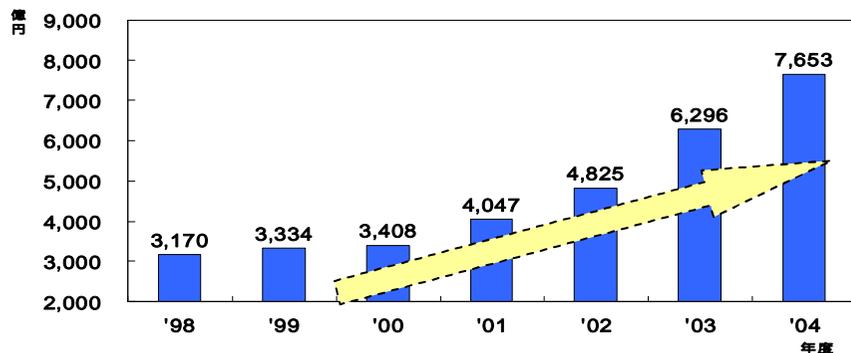
## 住宅ローンの推移 ~ 北陸・北海道合算 ~

- 消費者ローンの中核となる住宅ローン残高も堅調に推移
- 引き続き職域やハウスメーカー囲い込みによる残高増強に注力

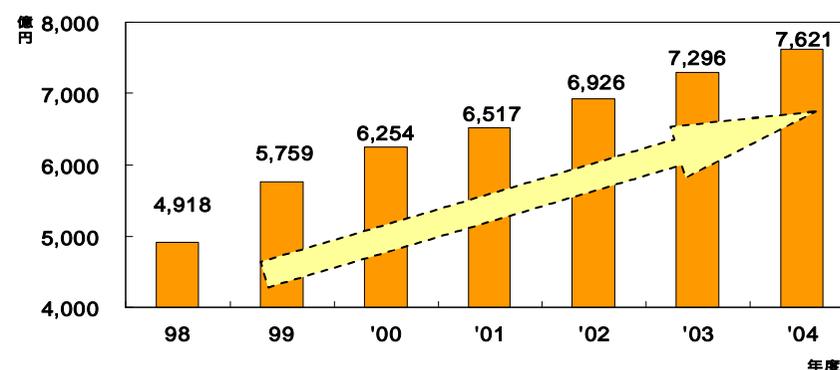


(注)北陸銀行の計数には、購入RMBS(03年度:711億円、04年度:1,539億円)含む。流動化残高減少影響(03年度:711億円、04年度:989億円)。

### < 北陸銀行 >

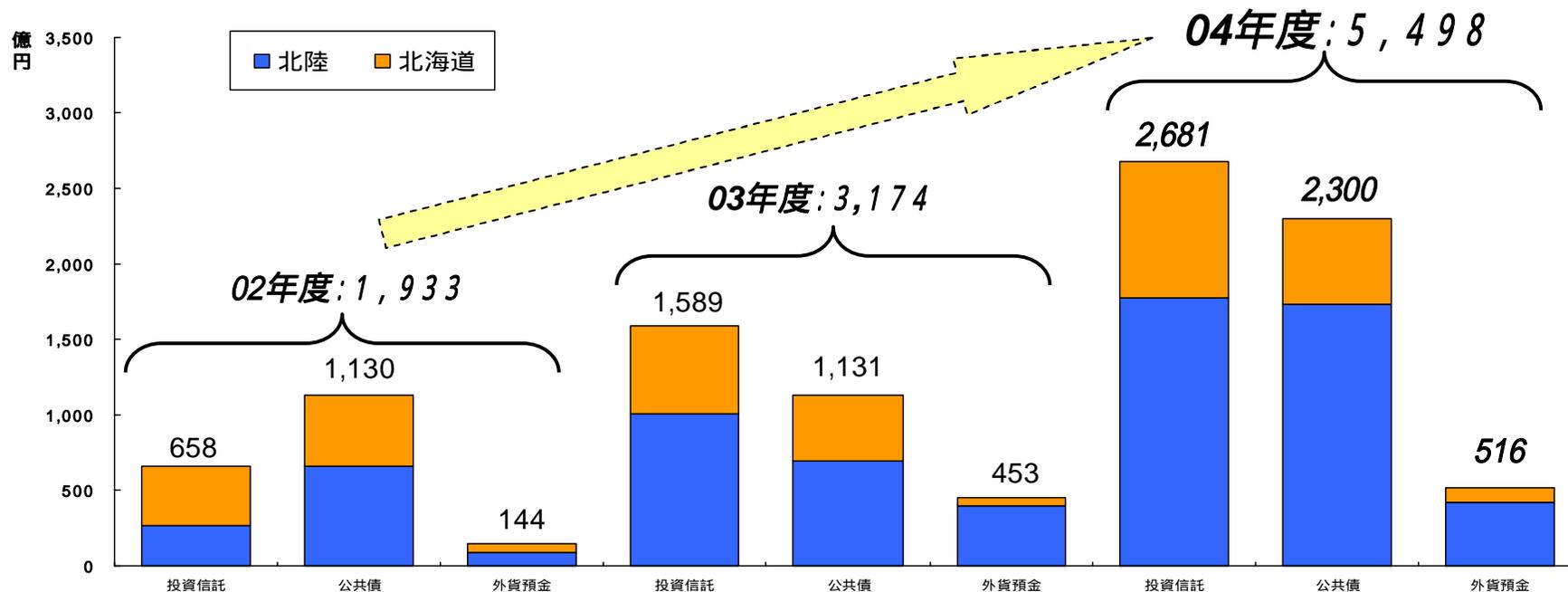


### < 北海道銀行 >



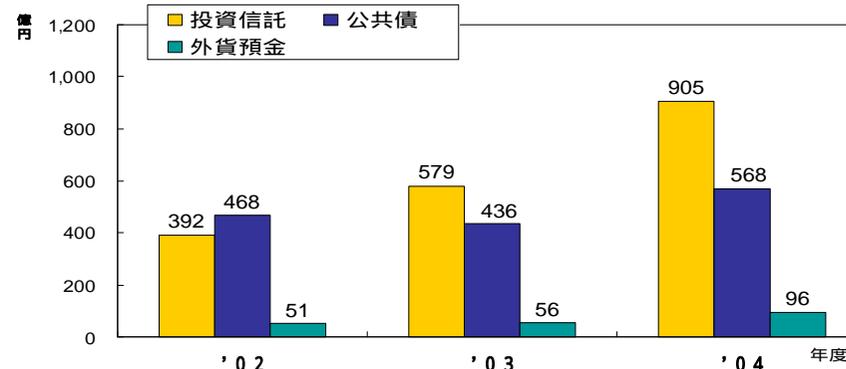
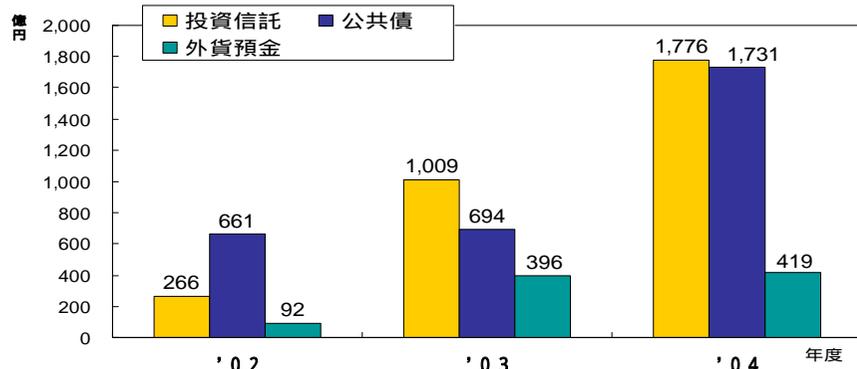
# 個人向け投資型金融商品残高の推移 ~ 北陸・北海道合算 ~

➤この2年間で約3倍の伸びを示す



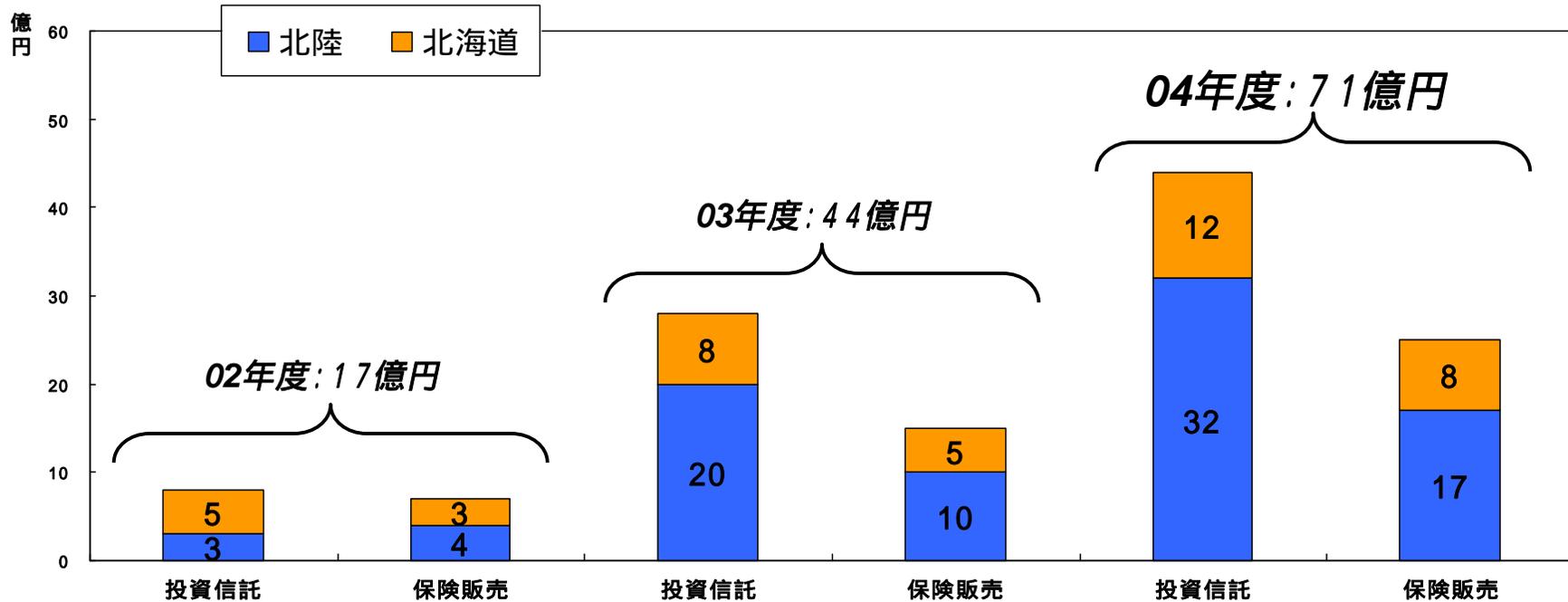
**<北陸銀行>**  
 ・定期分配型外債ファンドや個人向け国債等が好調

**<北海道銀行>**  
 ・店頭グループの営業推進力を強化

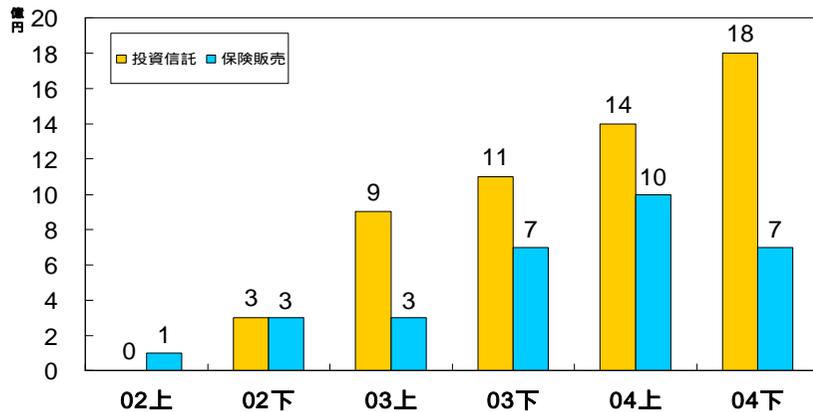


# 投資信託・保険販売手数料収入の推移 ~ 北陸・北海道合算 ~

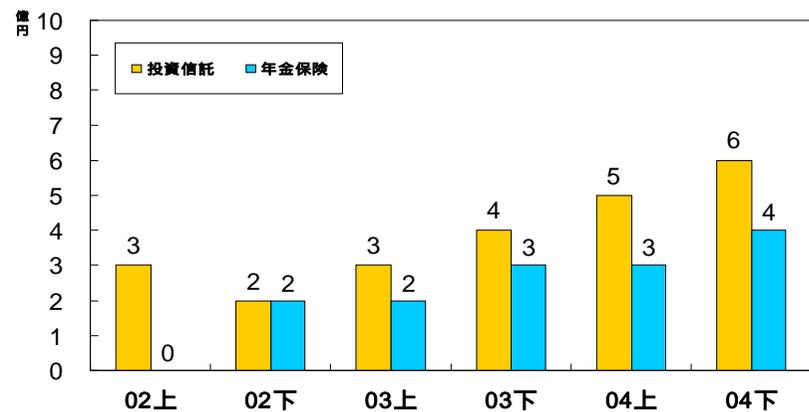
➤ 投資信託、保険販売の手数料収入は飛躍的に向上



## < 北陸銀行 >

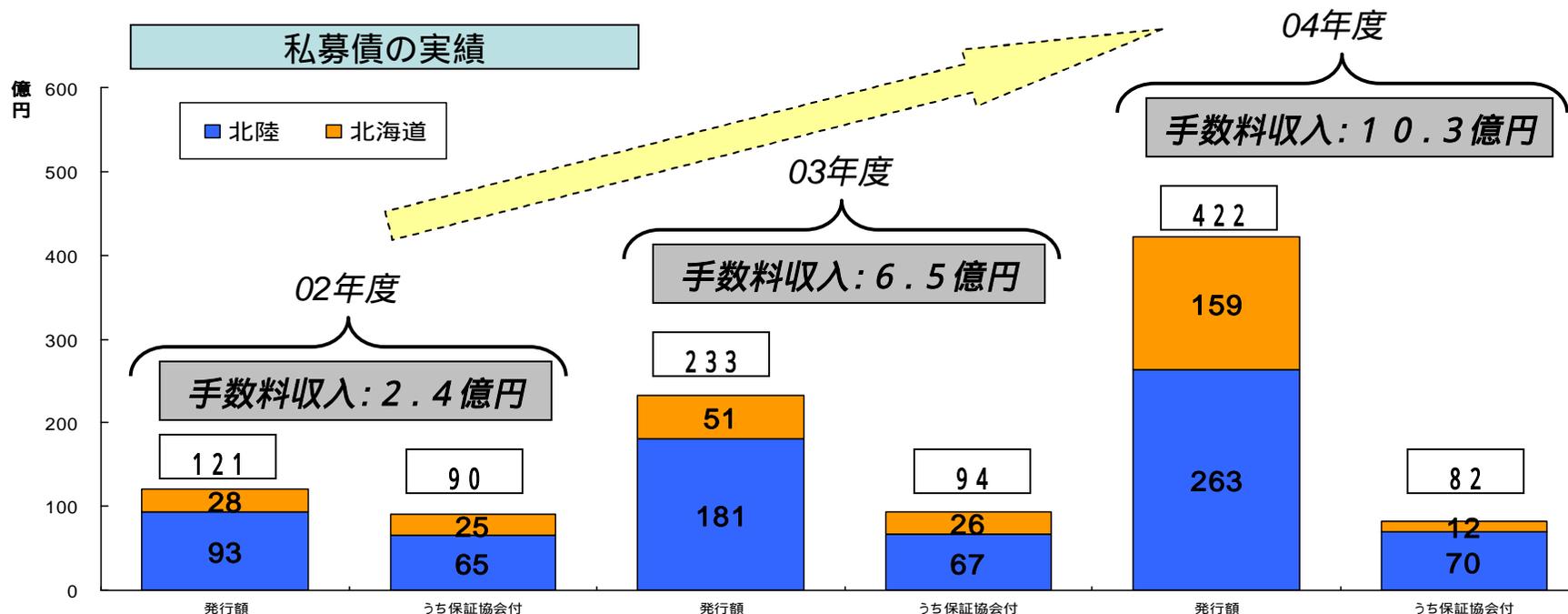


## < 北海道銀行 >



# 私募債・シンジケートローンの推移 ～北陸・北海道合算～

➤企業の多様な資金ニーズに応え、取扱い実績は着実に増加



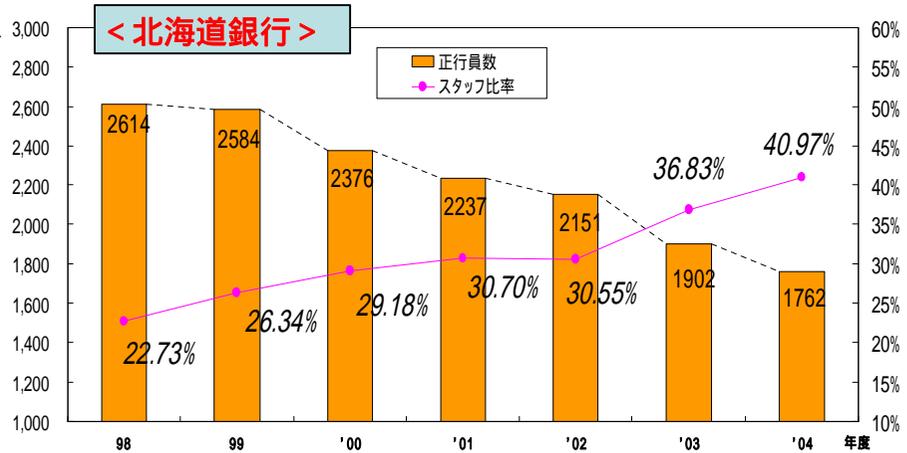
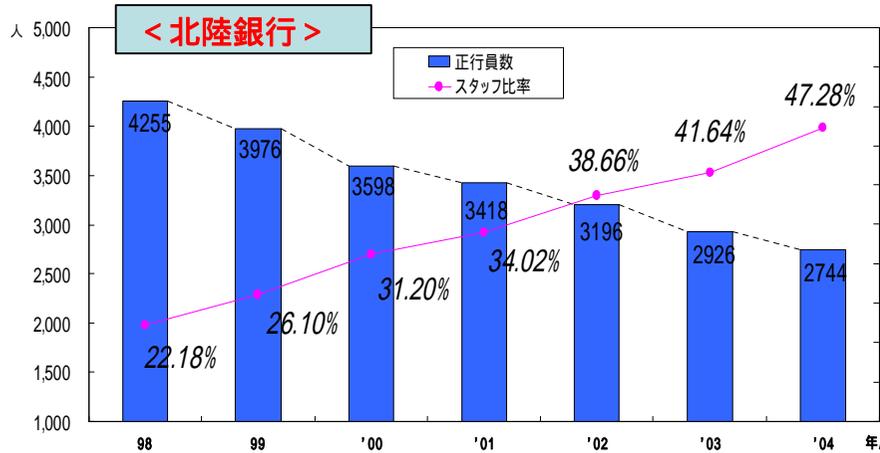
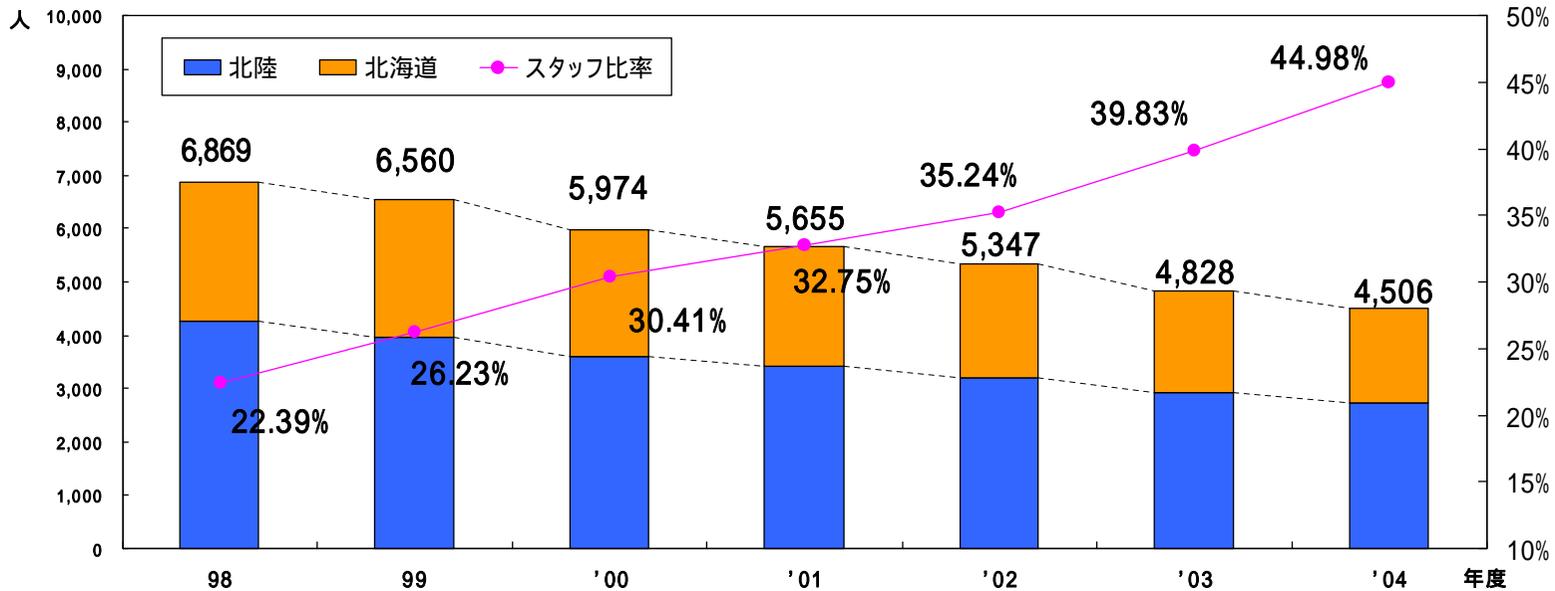
## シンジケートローン(アレンジャー)の実績

	03年度		04年度	
	案件組成件数	アレンジャー手数料	案件組成件数	アレンジャー手数料
北陸銀行	32件	2.4億円	48件	3.6億円
北海道銀行	9件	1.2億円	27件	3.2億円
合計	41件	3.6億円	75件	6.8億円

# 人員構成の推移 ~ 北陸・北海道合算 ~

➤ 正行員はこの6年間で約2/3へ削減  
 ➤ 更なる役割分担の明確化とローコストオペレーションの確立に努める

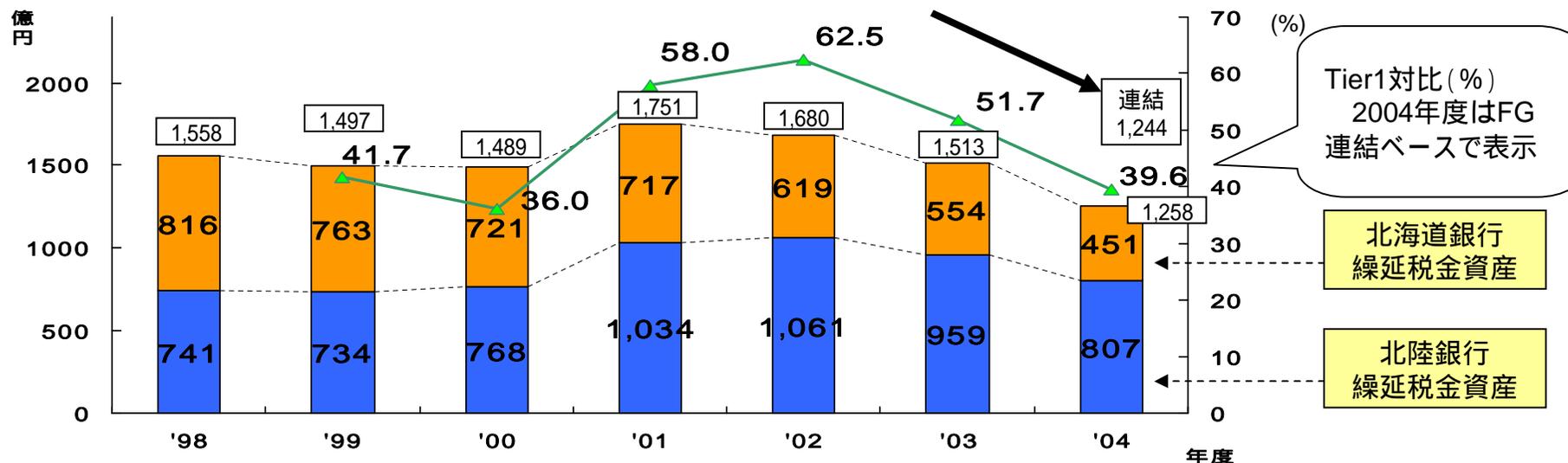
正行員数およびスタッフ比率の推移



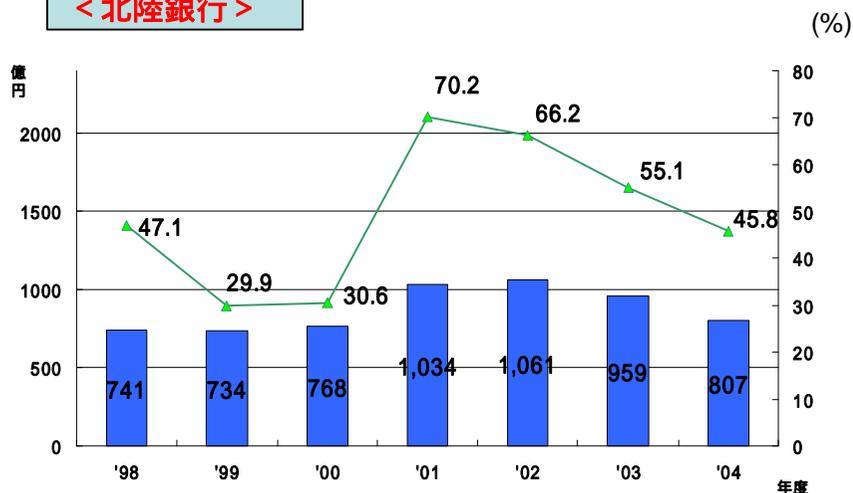
スタッフ比率 = (嘱託行員 + 契約社員 + 臨時雇 + 派遣・直接雇用パート) ÷ (正行員 + 嘱託行員 + 契約社員 + 臨時雇 + 派遣・直接雇用パート)

## 繰延税金資産の推移 ~ 北陸・北海道合算 ~

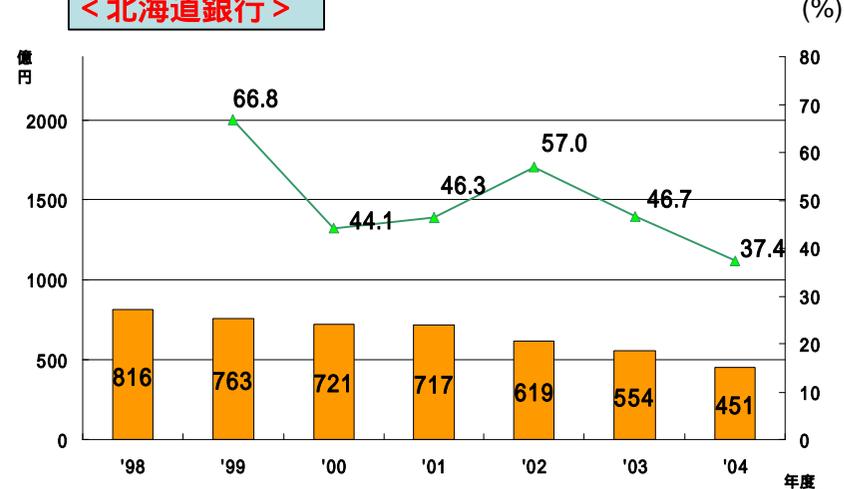
- 繰延税金資産は、ほくほくFG連結ベースで1,244億円（'04/09月比 143億円）
- コア業務純益による回収見込年数は3.6年と、収益力に見合った水準



< 北陸銀行 >



< 北海道銀行 >



# ほくほくFGの経営健全化計画

## 経営健全化計画の進捗状況

	2004年度 計画	2004年度 実績	計画比	2005年 計画	2006年 計画	2007年 計画	2007年計画と 2004年実績比
業務粗利益	1,736	1,802	65	1,767	1,815	1,879	+ 77
経費 (OHR < 経費/業務粗利益 >)	900 (51.83%)	891 (49.49%)	8 ( 2.34%)	887 (50.19%)	879 (48.46%)	873 (46.48%)	18 ( 3.01%)
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	836	910	73	880	935	1,005	+ 95
コア業務純益	828	858	30	872	927	989	+ 131
不良債権処理額	535	595	60	390	310	310	285
経常利益	287	340	53	476	607	673	+ 333
当期純利益	141	152	10	259	361	421	+ 269
剰余金残高	450	463	13	647	940	1,299	+ 836
自己資本比率	7.82%	8.33%	0.51%	8.12%	8.58%	9.18%	+ 0.85%
Tier1 比率	5.91%	5.95%	0.04%	6.34%	6.89%	7.57%	+ 1.62%

単位: 億円

収益部門は、北陸銀行と北海道銀行合算 剰余金は、ほくほくFG + 北陸銀行 + 北海道銀行 自己資本比率は、ほくほくFG連結ベース

コア業務純益 = 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) - 国債等債券関係損益等

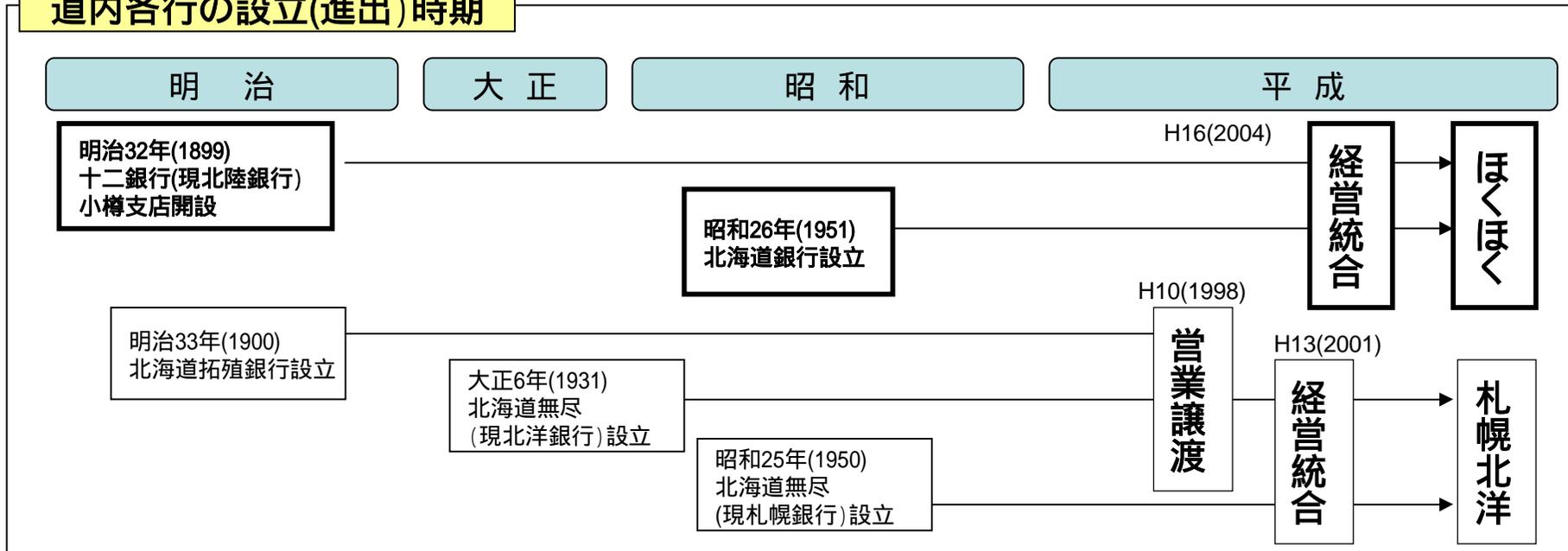
不良債権処理額には、一般貸倒引当金繰入を含む

剰余金残高は、利益剰余金のうち利益準備金以外のもの

# ほくほくFGの経営戦略

# ほくほくFGの北海道における位置づけ

## 道内各行の設立(進出)時期



## 各行の設立(進出)経緯と主要顧客層

### 北陸銀行

#### 道内進出経緯

- ・北前船貿易 荷為替の発生
- ・北陸県人の移民 資金需要

#### 道内での顧客層

- ・老舗企業
- ・水産関連業者
- ・北陸地方出身者

### 北海道銀行

#### 設立の経緯

- ・戦後、中小新興事業者の金融取引ニーズの高まり
- ・商工会議所の要請により設立

#### 顧客層

- ・戦後企業
- ・流通、サービス業者

### 北洋銀行

#### 設立の経緯 (北洋・旧拓銀)

- ・北海道無尽として設立
- ・北海道開拓のための国策銀行
- ・旧拓銀からの営業譲渡
- ・道内有力企業は北洋メインへ顧客層
- ・老舗企業
- ・地方公共団体
- ・小規模事業者 (旧相互銀行の取引層)

**顧客基盤の補完関係!**

## 地銀の広域化への流れ～広域地域金融機関の誕生～

### ◆地元企業の広域化

…大都市圏の進出

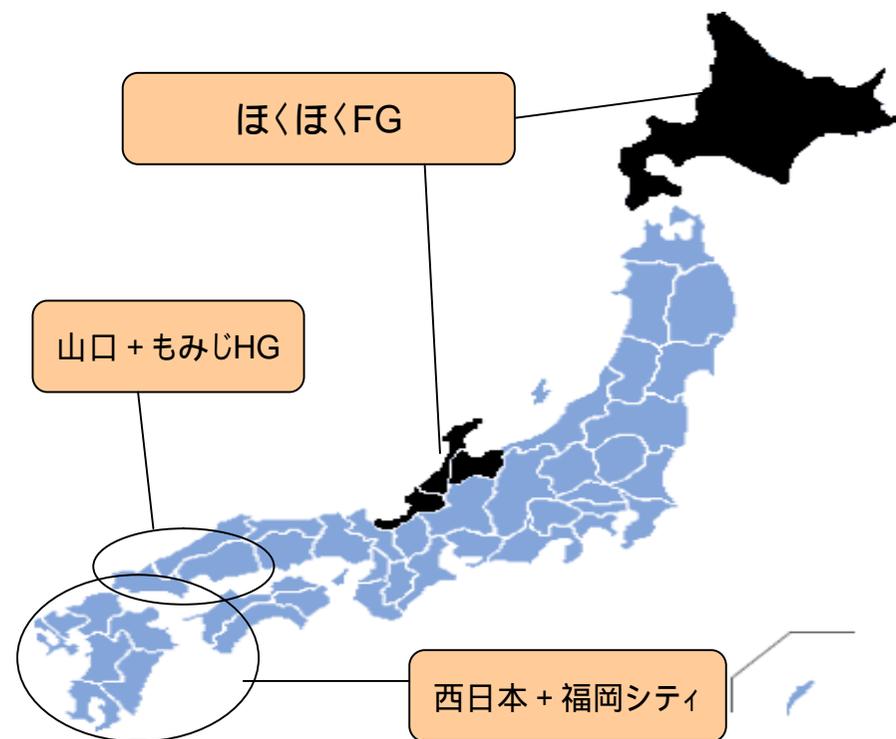
### ◆地元企業のグローバル化

…中国を中心とした東アジアへの進出



地方経済 = 1県の枠には収まらない  
県境も国境もない「ボーダレス時代」

地銀の広域化は必然！  
お客様のニーズ！  
サービス業としての  
スケールメリット追求！



### <地銀の広域化>

■収益性や健全性の補完関係確立

■営業基盤拡大戦略

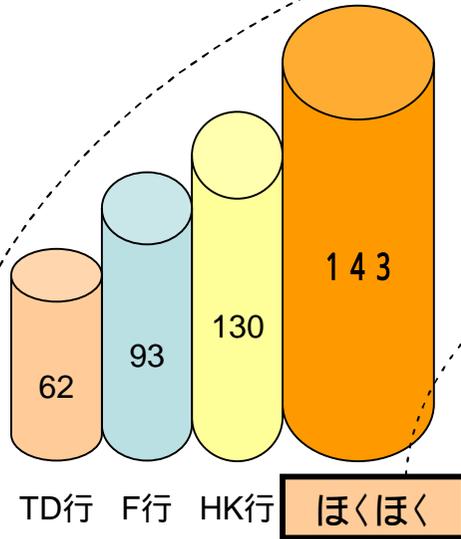
…進出を検討している地域の銀行との経営統合

今後、加速していく様相

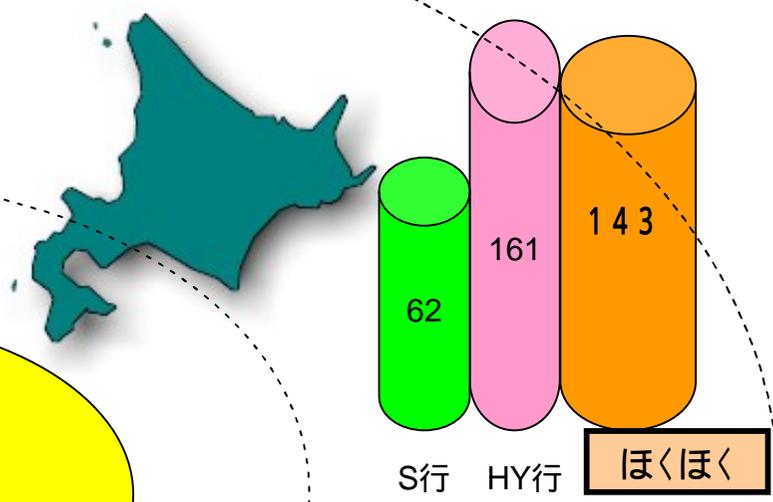
# 地域におけるネットワーク～競合他行比較～

(有人支店・出張所計)

北陸三県



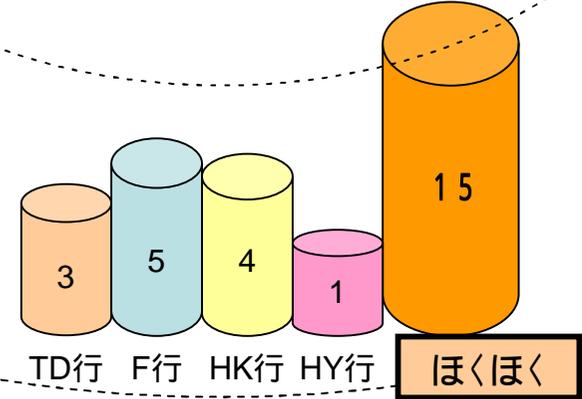
北海道



地元他行比  
三大都市圏の  
店舗ネットワークは  
圧倒的優位！



三大都市圏



# ほくほくFGのビジネスモデル

▶北海道、北陸をフランチャイズに三大都市圏にも広く展開 ~ ほくほくFGの特色

▶地域預貸金シェアは、富山県50%程度(1位)、北海道・石川県・福井県は15~25%程度(2位)

## ビジネスモデル(法人取引)

### 営業戦略

フランチャイズ全地域での取引シェアアップ

#### 1.地域主要企業との取引拡大

< 施策 >

- ・ビジネスマッチング
- ・中国・ロシアビジネスのサポート  
(長城会、中国デスクの設置)
- ・両行得意分野でのトレーニー交換
- ・北海道における共同推進チーム設置 等

中長期的に  
トップシェア  
を展望!

#### 2.小規模・家業層への取引浸透(全地域)

< 施策 >

- ・取引チャネルの拡大  
~「ほくぎんプラザ」  
「道銀ビジネスローンプラザ」
- ・商品の拡充  
~「クイックエース」  
「マインドゥ」(プラザ専用商品)

統合の意義  
・両行の強みを相互に学ぶ  
・経営基盤の安定化

## ビジネスモデル(個人取引)

### 営業戦略

年間2,000億円の実行目標

家計メイン化を推進

#### 1.住宅ローンの更なる推進強化

< 施策 >

- ・ハウスメーカーとの連携(「ドリーム会」、提携商品等)
- ・「ローンプラザ(現在58カ所:北陸46、北海道12)」の拡大
- ・セグメント別の優遇商品、保険付商品拡販

#### 2.預かり資産残高の積み上げ

4年間で2,466億円  
増加目標

< 施策 >

- ・商品ラインアップの充実
- ・遠隔相談システムの拡充、本部渉外担当者の増員

#### 3.ネットワーク拡充~顧客利便性の向上~

- ・コンビニATM,信金とのATM提携  
~北陸では地域NO1のインフラ整備  
北海道では地元競合金融機関に伍するインフラ充実
- ・給与、年金口座の増強(みつばち作戦)

# 法人取引(事業性貸出)戦略

## 戦略目標

- 10億円以上売上企業のメイン化・シェアアップ
- 10億円未満売上企業層への取引拡大

道内メイン取引率を  
両行合算で30% 35%にアップ!

	メイン	準メイン	その他
売上 10億円 以上	<p>メイン化・シェアアップ メイン取引先の周辺取引囲込</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>ビジネスマッチング</b></li> <li>・<b>国際化戦略(環日本海)</b></li> <li>・新規専担チームによる取引開拓</li> <li>・両行共同・道内主要先取引拡大運動</li> </ul>		
売上 10億円 未満	<p>信金・信組メイン先との取引拡大 顧客アクセス拡大 = 利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>「ほくぎんプラザ」</b></li> <li>・<b>「道銀ビジネスローンプラザ」</b></li> <li>・FSTによる重点地域集中訪問</li> </ul>		

## 地区別営業戦略

富山	メイン取引の堅持
石川・福井	競合他行のメイン先への取引参入・シェア拡大
北海道	競合他行のメイン先への取引参入・シェア拡大
三大都市	地元関連、店勢圏取引を再開拓 地域と都市圏のビジネスのパイプ役を担う

# 個人取引(住宅ローン等)戦略

## 戦略目標

地域世帯のメインバンクとしての役割を担う

消費者ローン比率目標: 30% (両行合算)  
 <平成20年3月末目標>

【新築系マーケットをターゲット】

- ・北海道地区: 市場規模3,300億円 × シェア30%
- ・北陸三県: 市場規模2,600億円 × シェア40%  
1,000億円 / 年

新築系住宅ローンマーケットの拡大

～着工件数は伸び悩むが、公庫の業務縮小に伴い  
 マーケットは大きく拡大～

住宅着工件数(新築、分譲件数)

	H13	H14	H15	H16	平均
北海道	23,077	20,650	21,667	21,392	21,696
北陸三県	14,050	13,959	13,721	13,705	13,858

公庫実行シェア : 72%(12年度) 8%(15年度)  
 …銀行系ローンのシェア拡大(90～100%)

(北海道)

着工戸数21,000戸 × ローン利用率80%  
 × 平均ローン実行額20百万円 = 3,360億円

(北陸三県)

着工戸数14,000戸 × ローン利用率80%  
 × 平均ローン実行額23百万円 = 2,576億円

年間  
 約6,000億円  
 マーケット!!

## 主な施策展開

### 1.ハウスメーカーとの連携

- ・業者担当者の組織化  
 「ほくぎんドリーム会」(3,815名)  
 「ほくぎんリフォーム倶楽部」(274先)
- ・提携商品の推進  
 「住宅ローン～提携プラン」
- ・業者専門の銀行担当者配置  
 「住宅ローンプラザ」職員が推進

### 2.利便性の向上

- ・「ローンプラザ」の拡充  
 17/3末: 58箇所(両行合算)  
 (前年比 + 15箇所)
- ・休日営業の展開 : 26箇所

### 3.商品性の見直し

- ・顧客属性、取引内容に応じた優遇
- ・失業信用保険、ガン保障付ローン

### 4.その他の消費者ローン

- ・無担保カードローン「ラビッド」  
 ～16年度中残高増加額39億円
- ・従来型カードローン  
 ～16年度中残高増加額20億円
- ・アパートローン  
 ～「アパートローンファンド100」  
 の発売(16年10月)

# 環日本海国際化戦略：中国ビジネス等海外進出支援

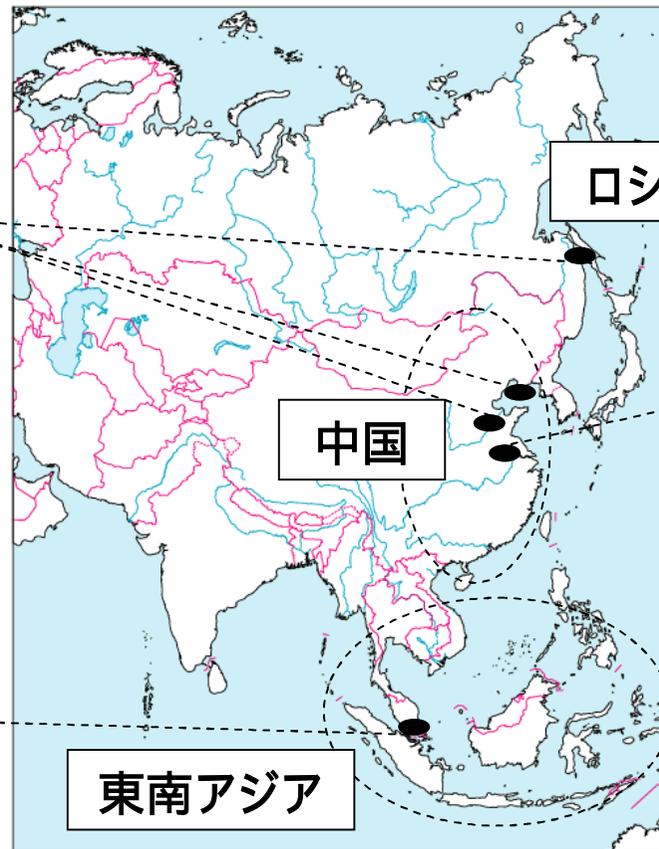
地銀トップクラスの海外ネットワーク！



17年7月より、道庁の職員を受け入れ予定

北陸銀行上海事務所

- ・ほくぎん長城会  
…会員数474先(17/4末)
- ・ほっかいどう長城会  
…会員数170先(17/4末)
- ・中国ビジネスデスクの設置(北陸銀行32カ店)
- ・中国ビジネスセミナー



富山県大連事務所  
・北陸銀行から1名派遣

日中経済協会  
(札幌市北京事務所)  
・北海道銀行から1名派遣

稚内市サハリン事務所  
・北海道銀行から1名派遣  
・サハリンウエスト銀行と業務提携(北海道銀行)

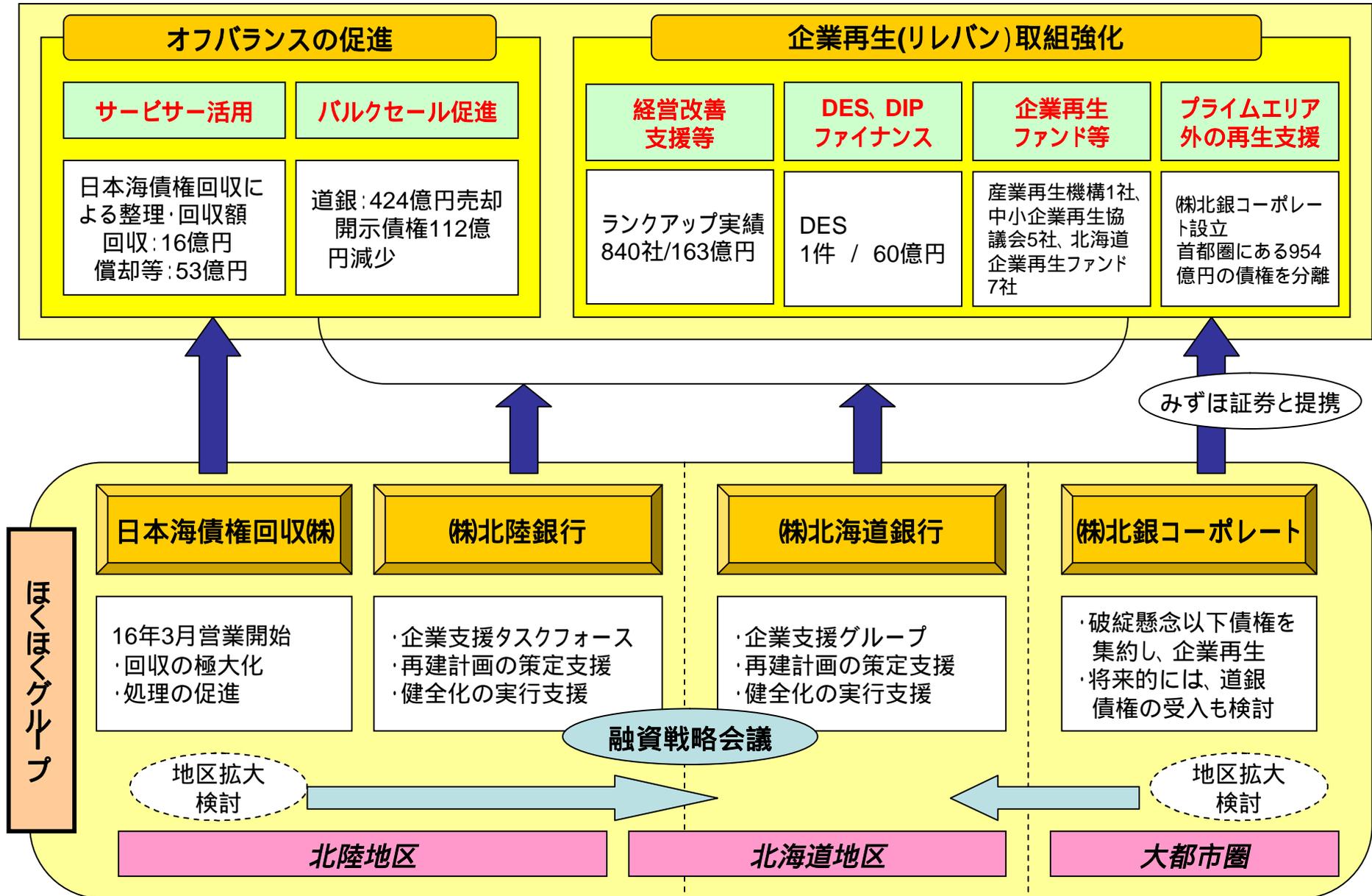
北陸銀行シンガポール事務所



タイ・マレーシア  
ベトナム等への  
進出サポート

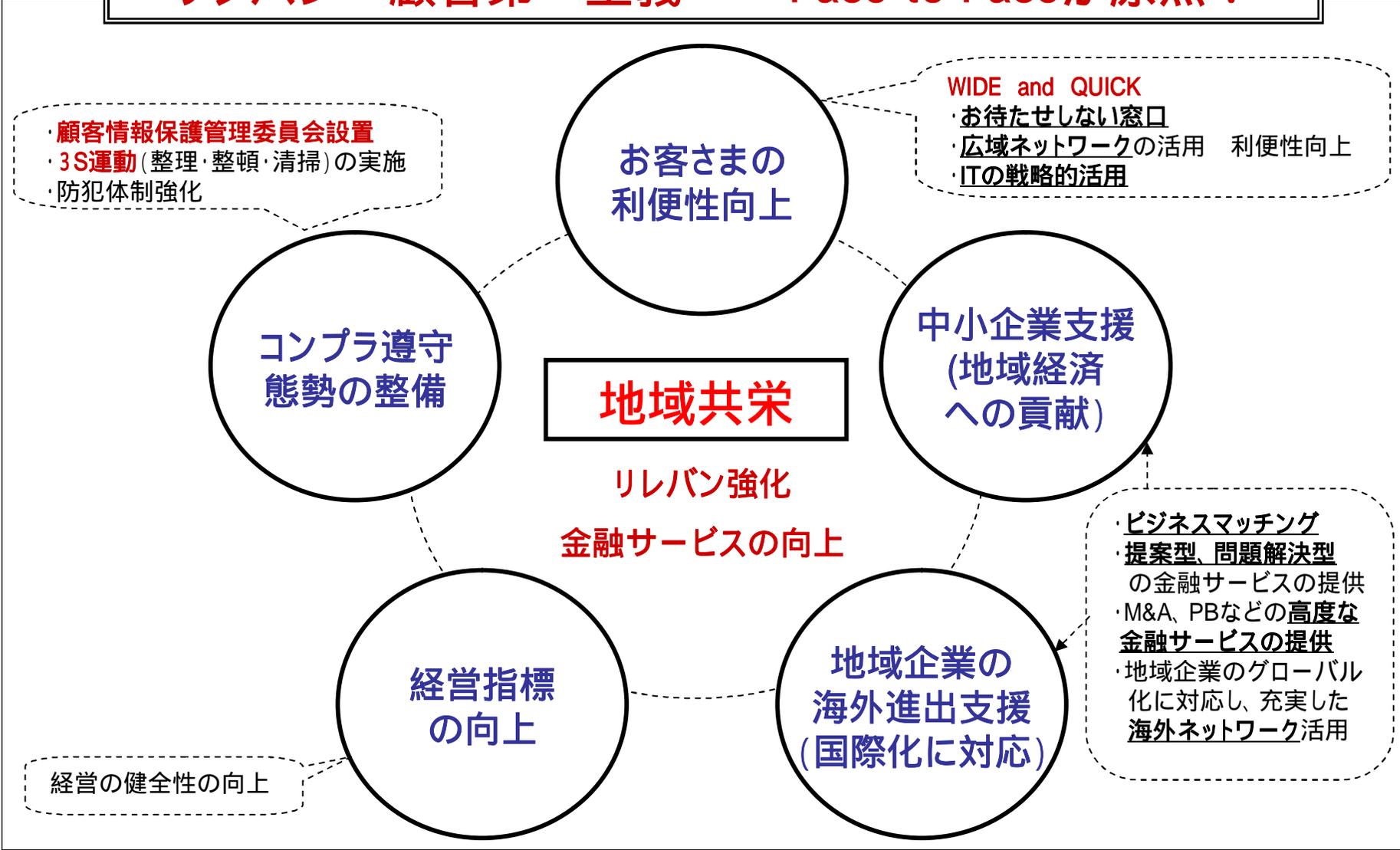
地域企業のグローバル化、  
東アジアへのビジネス展開を  
積極的にサポート！

# 企業再生・不良債権処理の取り組み



# リレバンの更なる強化に向けて

**リレバン = 顧客第一主義 ……Face to Faceが原点！**



本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ  
企画グループ(担当:庵、武波)

TEL: 076 - 423 - 7331

FAX: 076 - 423 - 9545

E-MAIL: [honsha2@hokuhoku-fg.co.jp](mailto:honsha2@hokuhoku-fg.co.jp)

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境等の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。